

～釜山で気軽にサイクリング 釜山の自転車事情～

下関市総合政策部国際課

(釜山広域市派遣職員)

大江 敏彦

韓国は日本と似ているようで違うと言われることがありますが、近所をサイクリングしていても、ちょっとした違いが感じられます。

まず、走っている自転車の種類が違います。韓国ではマウンテンバイクや、タイヤが細身のスポーツタイプの高級車が多く、私が出関から持参して乗っているシティーサイクル(ママチャリ)のような「前かご」をつけている自転車を、ほとんど見かけることがありません。もしかすると、ママチャリは周りからすれば少々浮いた存在の「外車」で、かなり野暮ったく見られているのかもしれませんが。

もともと韓国では、自転車がそれほど普及していませんでしたが、近年の健康志向の高まりにより、スポーツやレジャー、あるいはファッションのツールとして普及していったため、スポーツタイプの自転車が多数という背景があるようです。そのため、本格的なサイクルスーツや登山用ウェアに身を包み、流線型の自転車用ヘルメットをかぶって運転している人を多く見かけます。特に、釜山の場合は、坂が多いという地形的な条件をはじめ、市街地や町内の歩道は、路面の状態が良くないところが多く走りにくいという事情があったため、ママチャリが普及しなかったのかもしれませんが。



△駐輪場。スポーツタイプの自転車が圧倒的に多い。

また、演歌のような音楽を大音量で流しながらサイクリングを楽しむ年配者がいることにも驚きます。サイクリングだけでなくウォーキングの時にも、腰にぶら下げたスマートフォンからイヤホンなしで音楽を聴きながら歩く姿は、日本ではあまり見かけることがありません。

釜山広域市の自転車に対する施策として、河川敷や海岸沿いの眺めの良いところを中心に自転車専用道が整備されており、歩道への自転車道の標示も幹線道路や通学路を中心に行われています。また、地下鉄駅などの交通の要所を中心に駐輪所が整備され、無料で利用できるレンタサイクルの貸出所が市内に14か所（2014年6月現在）設置されています。



△歩道兼自転車道。自転車道は、カラー舗装で整備されている。



△河川敷に整備された自転車道。

このように自転車道が整備された釜山へ「サイクリング旅行」に訪れるのはいかがでしょうか。フェリーを利用すれば、日本から自分の自転車を持ち込むこともできますし、釜山の地下鉄は、自転車の乗り入れが可能（土日祝日のみ）なので、楽に移動することができます。また、日本の旅行代理店からツアー商品も出ているそうなので、それを利用するのもいいかもしれません。ただ、自転車道が整備されているとはいえ、自転車の運転マナーも、自動車同様、日本に比べてとても荒く感じます。走行の際には、歩行者への配慮など、交通事故に十分に気を付けて楽しんでください。